

令和5年度第3回四街道市みんなで地域づくり推進委員会 会議要旨

日時：令和6年2月13日(火) 午前9時25分～午後12時00分

場所：四街道市文化センター301号室

出席者(委員)：大下委員長、日野副委員長、福本委員、田中委員、中村委員、野口委員

出席者(事務局)：荒巻政策推進課長、小貝課長補佐、井上副主幹、櫻井主事

傍聴人：28名

―― 会議次第 ――

1.開会

2.委員長あいさつ

3.会議の公開・非公開

4.議題

- (1) 令和6年度みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）提案事業の公開プレゼンテーションについて
- (2) 提案事業の審査について
- (3) その他

5.閉会

―― 会議の内容 ――

1. 開会

(事務局：荒巻課長)

定刻より少し早いですが、全委員お揃いですので、ただ今から、令和5年度第3回四街道市みんなで地域づくり推進委員会を開催いたします。

本日は委員6名のうち全委員にご出席をいただいておりますので、四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条第2項に規定する過半数に達しておりますので、本日の会議は成立していますことをご報告させていただきます。

それでは大下委員長よりご挨拶頂きますので、四街道市みんなで地域づくり推進委員会要綱第7条に基づき、会議の進行をお願いいたします。

2.委員長あいさつ

―― 委員長あいさつ ――

(大下委員長)

議事に先立ちまして、会議録の作成についてですが、「四街道市審議会の会議の公開に関

する指針」により審議会は、会議録を作成することとなっております。なお、会議録における発言者名については、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、原則として明記することとなっておりますので、本委員会においても明記する取扱いとしたいと思いますが、委員の皆様のご意見をお伺いします。

(異議なし)

(大下委員長)

異議なしと認めます。本委員会における発言者名を明記する取扱いとします。会議録は事務局が作成することとし、出席委員を代表して私が内容確認をさせていただきたいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

3.会議の公開・非公開

(大下委員長)

会議の公開・非公開につきましては、議題「(1) 令和 6 年度みんなで地域づくり事業提案制度提案事業の公開プレゼンテーションについて」につきましては、「四街道市審議会の会議の公開に関する指針」により、また、広く市民の方に見ていただくため、公開とさせていただきます。

議題「(2) 提案事業の審査について」につきましては、四街道市情報公開条例第 8 条第 1 項第 5 号に該当するため、非公開とさせていただきます。

また、会議資料につきましては、「審議会等の会議の公開に関する指針の解釈運用基準」の規定により、議事次第については、配布するものとされておりますが、その他の資料の配布については本委員会の判断によるものとされておりますので、例年通り、コラボ四街道提案事業一覧とプレゼンテーションタイムスケジュールを配布することとしてよろしいか、委員の皆様のご意見をお伺いします。

(異議なし)

異議なしと認めます。

次に、本日の進行について事務局から説明をお願いします。

(事務局：櫻井主事)

それでは、本日の進行についてご説明いたします。

推進委員の皆様は、公開プレゼンテーションの内容を踏まえた上で、改めて評価票への記入をお願いします。各団体につき、プレゼンテーション時間 7 分、質疑応答時間 7 分とします。それぞれ終了「3 分前」、「1 分前」、「終了」時にベルを鳴らしますので目安として

ください。すべての団体のプレゼンテーション終了後に評価票を回収いたします。プレゼンテーションの終了は 11 時頃を予定しております。その後休憩を挟みまして、議題「(2) 提案事業の審査について」に移ります。

説明は以上となります。

(大下委員長)

何か質問はありますか。

(特になし)

(大下委員長)

9時40分から議題の(1)みんなで地域づくり事業提案制度の公開プレゼンテーションを開始しますので、時間までに着席をお願いします。

——休憩——

4. 議題

(大下委員長)

ただ今から、令和 6 年度みんなで地域づくり事業提案制度プレゼンテーションを開始します。プレゼンテーションに入る前に事務局より注意事項があればお願いします。

(事務局：井上副主幹)

会場内では携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定していただきますようお願いいたします。以上でございます。

—プレゼンテーション内容省略—

1. 社会福祉法人よつかいどう福祉会
2. おむすびっこ
3. ホ・オポノポノ
4. よつかいどう不登校支援ネット
5. 四街道 市民のためのバレエ実行委員会

(以下質疑応答や意見等要旨)

1. 社会福祉法人よつかいどう福祉会

(福本委員)

四街道工業団地協同組合には 22 事業者が加盟しているとのことでしたが、全ての事業者

から賛同を得られているのでしょうか。

(団体)

実行委員会を立ち上げた後に 22 事業者へ説明を実施する予定です。

(福本委員)

様々な企業があると思いますが、より一層の連携ができるよう努めていただければと思います。

(野口委員)

実行委員会は、社会福祉法人よつかいどう福祉会の中で立ち上げる予定でしょうか。

(団体)

福祉事業者、四街道工業団地協同組合、市内の商店街等で構成する新しい実行委員会を立ち上げる予定です。

(野口委員)

補助金は社会福祉法人よつかいどう福祉会の口座で取り扱う予定でしょうか。

(団体)

これから実行委員会を立ち上げる予定ですので、詳細なことはまだ決まっておりません。

(野口委員)

社会福祉法人よつかいどう福祉会の口座を使う場合は、事業の切り分けができるよう管理をお願いします。

2. おむずびっこ

(中村委員)

乳幼児は利用可能でしょうか。

(団体)

子育て世代が対象となるので、乳幼児連れの方も利用可能です。

(日野副委員長)

大人の交流について、どのような交流があると事業継続につながると考えていますか。

(団体)

和室2部屋を借りる予定です。1つは食事スペース、もう1つは子どもの遊びスペースと考えています。今のところ、大人の方向けに企画は考えていませんが、子育て世代の方同士でお話しすることで交流を深めていただければと思っています。

(野口委員)

ボランティア確保の課題があると思いますが、自治会からの支援はありますか。

(団体)

大日桜ヶ丘自治会館の館長、区長等に協力していただく予定です。

(田中委員)

地域の中で課題を抱えている方に対しては、様々な機関に繋いでいただきたいのですが、どのようなお考えをお持ちでしょうか。

(団体)

民生委員、地区社会福祉協議会等と連携し、必要な機関と繋げたいと考えています。

3.ホ・オポノポノ

(田中委員)

事業としての位置付けはどのように考えていますか。

(団体)

産前産後の事業として位置付けています。活動の継続性を考えて、無料ではなく有料で開催することとしました。

(田中委員)

本職である訪問リハビリはニーズが高く、お忙しいと思いますが、本事業との両立は可能でしょうか。

(団体)

仕事の合間を縫って本事業を進めておりますが、空いているスタッフに協力いただき、訪問リハビリと産前産後が連携できるよう検討していきたいです。

(中村委員)

当初会費を取らずに無料で開催しようとしていたとのことでしたが、何か理由はありま

すか。

(団体)

事業を周知するために無料にすることも検討していましたが、最終的には事業を継続していくために有料としました。

(日野副委員長)

保険の適用について、詳細を教えてください。

(団体)

参加者が怪我等をした場合は、体力メンテナンス協会が加入している保険を適用します。

(日野副委員長)

団体名義ではなく、体力メンテナンス協会名義の保険ということでしょうか。

(団体)

はい。保険は体力メンテナンス協会の会員が主催する講座の参加者にも適用となります。

(大下委員長)

2年目に値上げをすると参加者が減る可能性もあるので、先を見据えて会費を検討した方が良いと思います。

4. よつかいどう不登校支援ネット

(中村委員)

青少年育成センターとはどのように連携していますか。

(団体)

団体の立ち上げや四街道不登校相談窓口ガイドの作成時に意見交換をさせていただきました。

(日野副委員長)

悩みを抱えた方を把握するため、どのように情報収集する予定でしょうか。

(団体)

学校から情報は得ることは難しいため、親の会と連携し、SNS等で発信をしています。また、当事者の方と関わるためには指導課と連携することが大切だと思っています。

(日野副委員長)

交流会等を手厚くしていただけると、当事者の方も参加しやすいかと思いました。

(田中委員)

四街道不登校相談窓口ガイドに掲載されている機関とは、定期的に連携しているのでしょうか。

(団体)

公的機関は、教育委員会を通して連携を取っていきたいと考えております。民間団体については、市内の団体には相談しづらいというお話も聞くので、市外の団体とも連携していきたく考えています。

(大下委員長)

印刷製本費が少し高く感じますので、もし事業が採択されましたら、有効に活用していただければと思います。

5. 四街道 市民のためのバレエ実行委員会

(田中委員)

交流等が大切と説明されていましたが、市の課題との位置付けをご説明いただけますか。

(団体)

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民同士の交流の場がなくなっております。この事業を通して幅広い年齢層での相互交流を推し進めることで、地域づくりに貢献したいと考えています。

(野口委員)

第1回目の収支について、教えてください。

(団体)

収入については、チケット販売、協賛金と参加費を合わせて780万円となりました。また、支出については、会場費、講師料、大道具・衣装等を合わせて780万円となりました。

第2回目は、コラボ四街道を活用することで参加者等の負担を減らしたいと考えております。

(福本委員)

コラボ四街道は3年度を上限としていますが、補助金額は年々下がっていきます。今後

継続していくためには、第 1 回目の参加者や協賛者等を維持した方が良いと思いますが、どのように考えていますか。

(団体)

参加者の友人から参加したい等の声があり、事業が周知され、四街道市に根付く事業だと思っています。

(大下委員長)

ありがとうございました。以上で、プレゼンテーションを終了します。事務局よりこの後のスケジュールの説明をお願いします。

(事務局：井上副主幹)

皆様、お疲れ様でございました。この後、休憩をはさみまして議題「(2)提案事業の審査について」を行います。

審査の結果につきましては、市ホームページで公表いたします。なお、公表結果につきましては、「みんなで地域づくり推進委員会」の選考結果であり、この選考結果を踏まえたうえで、市において採択団体を決定いたします。

各団体の皆様には、後日事務局から採択・不採択の結果を文書にて通知いたします。

また、審査は非公開で行われるため、各団体の皆様とプレゼンテーションの傍聴の皆様につきましては、ここでご退席をお願いします。

委員の皆様は、11 時 15 分から会議を再開いたしますので、それまでに席へお戻りください。

(2) 採択事業の審査について

—(非公開)—

4.その他

—省略—

5.閉会

—省略—

(以上)